

試合番号 : 451	試合会場 : 紫波町総合体育館	観客数 : 349		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:07	試合時間 : 02:07		
主審 : 高橋 宏明	副審 : 津嶋 由香			
PFUブルーキャッツ	通算 0勝 1敗 ポイント : 0	20 第1セット 25	日立Astemoリヴァーレ	通算 1勝 0敗 ポイント : 3
監督コメント 紫波町でのホームゲームをご観戦いただき、ありがとうございました。第1セットから攻守ともうまくかみ合わせ、点数を取ることができた。非常に残念な結果となってしまったが、また明日に向かって準備をしたい。本日も応援してくださった皆様、ありがとうございました。	1	17 第2セット 25	3	監督コメント 今日からV Cupがスタートしましたが、リーグ戦で出場機会が少なかった選手がコート上でどれだけ持ち味を発揮できるか、またいろいろなことにチャレンジしながら「変化」をテーマにどれだけ変わって行けるかがこの1ヶ月でやりたいことです。そんな中でブロックディフェンスやリバウゲームができたと思います。勝利できた中にもある課題に対してしっかり取り組み、チーム全員で成長したいと思います。寒い中アウェイチームである我々リヴァーレにも温かい声援を送ってくれた紫波町の皆様、ファンの皆様ありがとうございました。
		30 第3セット 28		
		16 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート PFUブルーキャッツと日立AstemoリヴァーレのV Cupの予選ラウンド第1戦。第1セット序盤、日立Astemoが点差を広げ、PFUも連続得点を重ね追いつけたが、日立Astemo野中の攻撃がさえ、日立が先取した。第2セット、1点を争うラリーが続いたが、日立Astemo高相のスパイクをはじめに、ヌクジャン、室岡の攻撃が決まり、PFUの追撃を許さず日立Astemoが連取した。第3セット、後がないPFUだが、前半、志摩のスパイクで得点を重ね、大村、高相もそれに続く。日立Astemoも野中、ヌクジャンを中心に攻め、後半両チームの攻防が続いたが、PFUが粘りでセットを奪取した。第4セット、1セット取られた日立Astemoは、高相、ヌクジャンの攻撃で差を広げ、PFUは高相、大村を中心に反撃するも差を縮めることができず、日立が第4セットを取り、勝利した。				

試合番号 : 452	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 459		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:57	試合時間 : 01:57		
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 増岡 三佳子			
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 0勝 1敗 ポイント : 0	25 第1セット 22	デンソーエアリービーズ	通算 1勝 0敗 ポイント : 3
監督コメント 今シーズンホーム最終週となり、モチベーションを高めて臨んだゲームでした。サイドの攻撃、バックアタックなどのスピードアップ、サーブ強化を課題として練習を重ね、その効果が少しずつ出た内容でした。敗戦となりましたが、自分たちの目指すバレーをさらに追求していきたいと思えます。本日も多くのご声援ありがとうございました。	1	22 第2セット 25	3	監督コメント 前半は、相手の強いサーブに苦しまされ、オフェンスのリズムがつかめない状況でした。しかし、第2セット以降は我々のサーブも効果的に機能し始め、ブロックとディフェンスの関係性もよく、得点に結びつきました。また、途中交代の選手も活躍を見せ、チーム一丸となって勝利することができました。来週以降も試合は続きますが、引き続き応援よろしくお願いたします。
		19 第3セット 25		
		22 第4セット 25		
		第5セット		
要約レポート 今シーズンのリーグレギュララウンドでは1勝1敗と星を分けたKUROBEアクアフェアリーズとデンソーエアリービーズとの対戦。第1セット、序盤からKUROBEのサーブがデンソーのレシーブを崩し、高橋、浮島がアタックを決め17-12と5点差をつける。デンソーも石倉のアタックなどで2度2点差まで追いつくが、その都度、KUROBEが高橋のアタックで突き放し、セットを先取した。第2セット、デンソーが序盤からサーブでKUROBEのレシーブを崩し、ロザマリア、石倉が得点を重ねる。前セットとは逆にデンソーがリードし、KUROBEが追いつける展開となる。デンソーが15-13から横山が連続アタックを決め3連続得点し、5点差とリードを広げ終盤へ入る。KUROBEもメンバーチェンジで流れを変えようとするも叶わず、デンソーがセットを奪い返した。第3セット、序盤からデンソーは石倉、山下などで連続得点を重ね14-8とリードする。KUROBEも9-15からコGRAM、山口のアタックで3連続得点し追撃するが、直後にデンソーのロザマリアに連続アタックを決められ阻まれる。デンソーが中盤のリードを活かしセットを連取した。第4セット、KUROBEはセッター安田を先発させる。序盤は1点差を争う接戦の展開となるが、デンソーが11-10から横山の連続速攻、山下のサービスエースなどで4連続得点し一気にリードを広げる。終盤、KUROBEもコGRAM、梅津のアタックで3連続得点し追いつくが、ここもロザマリアが強烈なアタックでKUROBEの追撃を跳ね返しデンソーが勝利した。				

試合番号 : 453	試合会場 : 小真木原総合体育館	観客数 : 694		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:25	試合時間 : 02:25		
主審 : 饗庭 和恵	副審 : 菅原 潤			
プレステージ・インターナショナルアランマーレ	通算 0勝 1敗 ポイント : 1	17 第1セット 25	久光ブリングス	通算 1勝 0敗 ポイント : 2
監督コメント V Cupのホームでたくさんの方の声援の中で試合ができました。第1セットは久しぶりの公式戦となりゲーム感を取り戻すセットとなりました。第2セットはスタートからV Cupに向けて取り組んできたことが出ていい流れで展開することができました。第3セット、苦しい場面が続きましたが、交代が入った工藤の強気なサーブで流れをつかみ取りきることができました。第4セットは、相手にアジャストされ苦しい状況でした。第5セットは、こちら側も勝負をかけたが、久光ブリングスの高さやパワーに押し切られる形となりました。明日もホームの声援を力にかけて戦ってきたいと思います。ご声援をよろしくお願いいたします。	2	25 第2セット 17	3	監督コメント 本日は天雪の中ではありますが、たくさんのご来場ありがとうございました。短い期間でのチーム作りで、選手一人一人がコミュニケーションを常に取りながらセットを重ねることに良くなっていったと感じています。アランマーレさんのディフェンスに苦しめられて、なかなか点数が決まらない時間帯もありましたが、最後まで諦めずに頑張ってくれました。引き続き応援よろしくお願いたします。
		25 第3セット 22		
		19 第4セット 25		
		11 第5セット 15		
要約レポート 第1セット序盤、久光ブリングスの攻撃やサーブが決まり先にリードするがプレステージ・インターナショナルアランマーレは良く粘り、前田、佐藤、岡村の反撃で中盤までは互角の戦い。しかし、後半久光は高いブロックでアランマーレの攻撃を封じこのセットを先取した。第2セットも中盤まで互角の戦い。中盤からアランマーレの攻勢にリズムがで出はじめ、岡村、前田、木村の活躍でリードする。久光はブロックで反撃するも後半はアランマーレの粘りが功を奏しこのセットを取った。第3セット、久光は中島の緩急のある攻撃、大竹のクイックでリードするが、アランマーレは木村のブロックアウト、工藤の攻撃的なサーブで流れを掴み、最後まで粘る久光を振り切った。第4セットは久光が終始リードし優勢にゲームを進めた。第5セット序盤まではラリー応酬の好ゲーム。久光はアランマーレの攻撃をブロックで封じ、相手のリズムを崩し始める。後半アランマーレは攻撃で盛り返したが最後は久光の中川の活躍でこの試合に勝利した。				

試合番号 : 454	試合会場 : 笠岡総合体育館	観客数 : 681		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:20	試合時間 : 01:20		
主審 : 種元 桂子	副審 : 長崎 有紗			
岡山シーガルズ	通算 1勝 0敗 ポイント : 3	25 第1セット 19	トヨタ車体クインシーズ	通算 0勝 1敗 ポイント : 0
監督コメント 若手選手たちが与えられたチャンスを挑戦する気持ちを忘れずやりきったことが良かった。特に大きなミスなくできたことで、中堅選手もうまく回ったように思う。この勝利に甘んじることなく明日も精一杯ファンの皆さんの声援を背に頑張りたい。本日は大変多くの熱いご声援、誠にありがとうございました。	3	25 第2セット 14	0	監督コメント リーグ戦が終わる直前にV Cupとなり、準備としては非常に難しい状況であった。岡山シーガルズ相手に0-3と敗れ、課題が多く残るゲームであったが、良い所もあったのでそこを残しつつ課題を一つ一つ修正し、次のゲームに臨みたいと思えます。若手やリーグ戦出場機会が少ないメンバーで戦ったが、もっともって経験し成長できるゲームを作っていきたい。本日も応援ありがとうございました。
		25 第3セット 16		
		第4セット		
		第5セット		
要約レポート 岡山シーガルズがホームにトヨタ車体クインシーズを迎えてのV Cup予選ラウンド初戦。第1セット、序盤から岡山は金田、山城、トヨタ車体は鍋谷、吉永を中心に得点し互角の展開となるが、中盤に入り岡山が中本のアタックや妹尾のブロックなどで徐々にリードを広げる。トヨタ車体も周田や長野のアタックなどで反撃するが、岡山は多彩な攻撃で得点を重ね、セットを先取した。第2セット、このセットも立ち上がりからお互いが粘り強いラリーを展開し得点を重ねるが、中盤には入り岡山は佐伯、中本を中心に攻撃しリードを広げる。トヨタ車体も笠井、藪田のアタックなどで反撃するが、岡山は佐伯の連続得点などでリードを広げ、セットを連取した。第3セット、序盤から岡山は長瀬のブロックや佐伯のアタック、トヨタ車体は周田のサービスエースや鍋谷のアタックなどで得点し互角の展開となる。中盤に入り岡山は長瀬、中本のアタックなどで徐々にリードを広げる。トヨタ車体も鍋谷、笠井のアタックなどで反撃するが、岡山は小松原がアタックやブロックなどで得点しこのセットも奪い、ホームで予選ラウンド初戦を白星で飾った。				

※本票の著作権は、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。